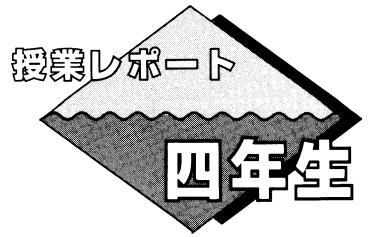


広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	イメージのとり結び方の個別性 : 生得的感性と知識による顕在性の現れ方
Author(s)	宮市, 千春
Citation	児童の言語生態研究 , 14 : 75 - 83
Issue Date	1990-11-25
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045166
Right	
Relation	





イメージのとり結び方の個別性

—— 生得的感性と知識による顕在性の現れ方 ——

宮市千春

授業案

- 一、日時 平成元年三月十六日(木) 午後一時三十分～二時十五分
- 二、学年・組 相模女子大学小学部 第四学年二組 男子十二名、女子二十四名、計三十六名
- 三、授業形態 児童の言語生態研究会 会員による ティームティーチング
- 四、授業テーマ イメージのとり結び方の個別性—— 生得的感性と知識による顕在性の現れ方——
↳ 個性研究のてがかりとして
- 五、テーマについて 「個性」というものが、教育においてクローズアップ

プされているが、その子の「生得的感性」と「知識による顕在性」とが一緒にされていることが多い。児童の言語生態研究会では個性の特性を追究してきたが、本授業では「生得的感性」を取り扱う。

この生得的感性は個々のイメージのとり結び方に現れてくると仮定して、イメージとかわりを持つ、教科書「みんな詩が書ける・心のつぶやきを」(光村図書 四下)を取り扱う。教科書「みんな詩が書ける・心のつぶやきを」を、次のように教材化する。

まず、題名をふせた詩を示し、詩からイメージを結んで題名を考えさせる。第一予想と、ヒントを与え、第二予想も書かせる。ここでは、児童が自分のイメージのとり結び方、イメージの流れ方を意識するようにしたい。また、生得的感性によって結ばれた詩を選んで、児童に示すように留意したい。そこで、教科書外からの詩も扱う。そして、児童がイメ

ージをとり結ぶ際に知識ではなく、生得的感性をはたらかせるよう留意する。

次に、「題をさがした詩」とつながりのある題名を児童に示し、そこからわくイメージを詩にするよう指示する。ここでは、個々の生得的感性をはたらかせてイメージを結ぶことをめあてとする。

また、本授業において、児童それぞれのイメージのとり結び方のくせをみることをねらいとする。イメージをとり結ぶ際に、生得的感性がはたらく子、知識による顕在性が強い子、といった個別性が見られると考えられる。

六、本時の目標

生得的感性をはたらかせて、イメージを取り結ぶこと。(児童)

児童のイメージのとり結び方の個別性を検証する。(指導者)

七、本時の展開

<p>学習活動(指示と発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ここに短い詩があります。何の何を詩にしたのでしょうか。題名を考えて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●これは虫です。何でしよう。……範囲を定める。 ●(第一予想を書く) ●これは「ケムシ」です。詩と題と、ぴったりだと感じた人はいますか。どこがぴったりとききましたか。 ●ぴったりこないという人は、どこがきませんか。 ●では、「イモムシ」という題名だったらどんな詩ができそうですか。「イモムシ」
<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用紙を回収し、生得的感性がはたらいっているかどうかたしかめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のイメージの流れ方を児童が意識するようにする。 ●ぼくはびったりきたのにおの子はびったりこないという。 ●生得的感性をはたらかせるようにする。 ●説明的・知的に書く子

<p>のイメージを浮かべさせて、自分にぴたりくる詩を書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発表して下さい。 ●今の人と似ている人、違う人はいますか。 	<p>生得的感性をはたらかせて書く子</p> <ul style="list-style-type: none"> ●説明的・知的に書いている場合には、生得的感性をはたらかせるように。
---	---

使用する詩と

<p>ケムシ さんばつは きれいな (イモムシ)</p> <p>カボチャ すわったきりですが かたが こつてなりません (タマネギ)</p> <p>ひょうたん なさけなや おなかを にぎりつぶされた (れんこん)</p>	<p>ミミズ ひとりでもつれることが できます ひとりでもつれてくる ことがあります ひとりでもつれてみる ことがあります あります あんまり かんたんなもの ですから じぶんが…… それで ちきゅうまでが…… (ナメクジ)</p>
<p>いびき ねじを まく ねじを まく ゆめが とぎれないように (くしゃみ)</p>	<p>えんとつ けむりの はたなど たてて いる だれも あそびに こないから (アンテナ)</p>

八、評価 生得的感性のはたらかせ方は、どうであったか

詩はまだみちおのもの
『つけもののおもし』
『動物のうた』
『人間のうた』
他、参照

<p>る。</p> <p>②それとつながるイメージの流れを起こさせるような題で詩を書く。</p>	<p>且つまったくもの詩とは異なったイメージをわかせるものにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きょうのねらいを確認する。
--	--

授業記録

さんばつは きれいな

- T この詩の題名は何だと思えますか。(↓第一予想を紙に書かせる)
- T これは虫です。もう一度考えてみよう。(↓第二予想)
- T これは「ケムシ」です。
- C えーちがったー。
- C やっぱりなー。
- T ケムシという題がびったりだなあと思った人。(ほとんど手があがる) どうしてびったりだと思いましたか。
- C 毛がいつばいあるからさんばつがきれいなって言うところ。では、みんなも「ケムシ」の詩みたいに詩をつくってみよう。
- T みんなは「イモムシ」という題にびったりくるように書いてみましょう。(↓詩を書く)

名前	第一予想	第二予想	「イモムシ」
C ₁	ハゲのおじさん	毛虫	キャベツが 食べたい
C ₂	うかばない	けむし	きもちわるい ムニユムニユ
C ₃	けむし(知ってた)	けむし	もぞもぞ うごく くによくにややさん
C ₄	わかりません	わかりません	イモムシコロコロ イモから生まれた なにかのよう虫? 足がたくさん 緑色
C ₅	けむし(知ってた)	けむし	胃があってもりもり葉を食べ、ムーツとへんな味だと考える、シ——これはだれにもいつてはいけない
C ₆	うかびません	うかびません	はいつくばつて歩く イモが好き
C ₇	けむし	けむし	モソモソ動く。あしがあるんだかわからない。でも、生きているのはたしかだ。
C ₈	とこやさん	いも虫	イモが大好き いつもイモのはっぱの上でねてる へんな顔だけど おもしろい
C ₉	さんばつ	うかばない	コロコロ歩いて じつとやすんで またコロコロ歩きます。
C ₁₀			欠席
C ₁₁	キリギリス	キリギリス	イモムシゴロゴロころがった。おイモじゃないのころがった。ボールでもないのころがった。なぜころがるのかな。
C ₁₂	さんばつや	わからない	クニヨクニヨ ニヨロニヨロ ぼくってどうして のろいんだろう
C ₁₃	うかびません	うかびません	ごろごろ だいすき
C ₁₄	うかびません	うかびません	イモムシは 人間にきらわれている イモムシは グリン色
C ₁₅	パーマ屋さん	かみきり虫	イモムシは木のえだに ちやいろいさなぎのようなふくをきている ちよこちよこ動く
C ₁₆	けむし(知ってた)	けむし	イモをくいあらし イモの中になていて やきいもになる
C ₁₇	うかばない	ケムシ	イモのようなムシ 歩くのがおそい みんな キライ……
C ₁₈	かみきり虫	かみきり虫	いつもはっぱにくるまってる くる日もくる日もくるまってる いとを木のえだにつけてる

名前	第一予想	第二予想	「タマネギ」
C1	つけもの石	きゅうり	エーン エーン
C19	うかばない	ハサミムシ	モシイモだったら イモをむしてイシをもむ。
C20	とこや	うかばない	コロコロ イモムシ イモきらい イモムシ イモムシ あか ちゃいろ イモきらい イモムシ
C21	ケムシ(知ってた)	ケムシ	足がおそくて 10センチを98・3ではしる。 これでもはやい方だ！ 人間にたとえるとふつうの人。
C22	けむし	けむし	はってあるく ゆっくりあるく ゴロゴロしている モソモソしてる
C23	けむし	けむし	イモのように コロコロしてる虫
C24	うかばない	ケムシ	イモムシはきたない
C25	うかびません	けむし	ちやいろくて ながまるで つちにすんでいる
C26	けむし	けむし	モコモコあるく さわると コロコロころがる
C27	さんぱつはきらい	けむし	イモみたいに まるくつて ムシみたい
C28	うかびません	うかびません	イモムシは はいつくばってている イモムシは 虫
C29	うかびません	うかびません	いもがすき いつもあたまに いもをのつけてる
C30	とこ屋	いも虫	イモがこうぶつ かわをぬげばハゲになる はっぱをたべて おなかがあふれてるま
C31	ケムシ(知ってた)	ケムシ	イモからうまれた むしである
C32	けむし(知ってた)	けむし	コロコロコロコロコロ………
C33	ぼくさんぱつきらい	わからない	イモムシのつたのつた おそいなあ…… うるさーい中身を見てからいえ！ イモムシのつたのつた おそいなあ……
C34	ケムシ(知ってた)	ケムシ	イモムシうごく よじつてうごく ウジュ ウジュ ああ つかれた
C35	けむし(知ってた)	けむし	セツタンは きらい
C36	ケムシ(知ってた)	ケムシ	どうもきもちわるい でもかわいい みどりでコロコロ けがちよっとしかかないから やっぱりさんぱつきらい？

すわったきりですが
かたがこつてなりません

T これは何でしょう (第一予想)
T これは野菜です。
T 野菜の中でこれはこつているなーという感じの肩をしてい
るんだよ。絵に書いてもいい。(第二予想)
T これはカボチャです。どうですか、びったりだと思っただか

C こつてる感じがする。
T みんなは「タマネギ」の詩を書こう。

C 27	C 26	C 25	C 24	C 23	C 22	C 21	C 20	C 19	C 18	C 17	C 16	C 15	C 14	C 13	C 12	C 11	C 10	C 9	C 8	C 7	C 6	C 5	C 4	C 3	C 2
じゃがいも	お年より	かぼちゃ	うかばない	いす	いす	おじいさん	わかりません	わからない	わからない	おじいさん	つけもの	おじいさん	わからない	わからない	わからない	わからない	うかびません	わかりません	おじいさん	いす	いす	カボチャ	わからない	石	つけもの石
じゃがいも	かぼちゃ	かぼちゃ	うかばない	わからない	大根	わからない	じゃがいも	ブロッコリー	わからない	わからない	きゅうり	かぼちゃ	わからない	じゃがいも	キャベツ	キャベツ	キャベツ	キャベツ	かぼちゃ	きゅうり	カボチャ	カボチャ	スイカ	かぼちゃ	カボチャ
まんまるくって はんぶん <small>に</small> 切ると なみだが ポロポロ	ザックリとほうちようで切った。わっ なみだがとまらない つーんとめにしみる	きると目がいたくて なみだがでる めがいたくて たまらない	タマネギは まるい	ほうちようで ザクツ <small>と</small> きると なみだが ポロポロ でてくる	茶色 <small>の</small> ような 洋服 <small>を</small> きています。みじん切りにすると なみだがポロポロ	ココロころがり 切ると はんげき <small>して</small> きて 目からなみだがでる エーン ザマー	まるいまるい しわ <small>の</small> ような線、茶色い。ころころ ふしぎ 中は 白い	下からみるとにんじん 上からみると大根 横からみると水でき 切ってみると なみだがでてる。	すぐみんなをなかせてしまう なんてなかせてしまうのかな、なぜだろう	ころころ… 切るとなみだがでる… 目にしみる きるのが やになる	包丁 <small>で</small> きると つーん なみだが ぼろぼろ	むいて 切れば なみだがぼとり	人間 <small>にと</small> つてやな野菜だ。茶色 <small>つ</small> ぼくて丸い。なみだがでる、ポロポロポロ。	タマネギまるい きるとなみだがでてしまう。つるつるしてる。	ぼく <small>と</small> つてそんなに かなしいのかな だつてみんな ないちゃうもん!	ちやいろで なんかほうほう 火がでてるみたい なんか こわい かんじ	むいて むいて むいて むいて むいて あら なのになくなっちゃった	エーンエーン 目がいたい なみだがでできた エーン エーン	みんなは 泣いた ぼく <small>は</small> 見て 泣いた	切つて食べるが なみだがぼろり	えーんえーん だれか <small>が</small> ないている。みにいつてみたら たまねぎを切りながら ないていた。	タマ <small>の</small> 様な ネギ <small>だから</small> タマネギ?	タマネギ頭 <small>が</small> とんがつて なかせて かわが かんたんにはげる	トンガリ <small>あ</small> たま かわ <small>ばかり</small>	

名前	第一予想	第二予想	「れんこん」
C7	おにぎり	ぶどう	なまけなま 虫にいつぱい食べられた
C2	おにぎり	たね	よわつちい みみずにくわれ あなあいた。
C3	ブドウ	オレンジ	土の中の虫に 体にへやを つくられた
C4	わからない	わからない	どろまみれになって どんどん よこれていく
C5	ひょうたん	ひょうたん	切っても 切っても 切っても 全部切っても 穴があいてる
C6	おむすび	かき	中は白くて 穴いつぱい
C7	おにぎり	ヒョウタン	うーん……
C8	ごま	かき	体に穴があってかわいそう。えのぐぬって 紙にうつすと お花みたいなもよう
C9	わからない	わからない	ああいたい 上からやりが ふってきた。
C10			

なまけなま
おなかをにぎりつぶされた

T この詩の題は何でしょう。(↓第一予想)
T これは木になるものです。
Tu まるを書いて、そのまるのおなかをギュッとにぎりつぶしてごらん。わかるから。(第二予想)
T これは「ひょうたん」でした。では、「れんこん」という詩

C 今、書こうと思つてたこと言われちゃった。
Tu 穴があいててこつちから見たらあつちが見えたなんてためだからね。そんなのだけれども書ける。自分だけのを書くんだ。
C 今、書こうと思つてたこと言われちゃった。

C36	うかばない	つけもの	ピリピリ やつとようふくむけた こんどは切るぞ あー目にしみる
C35	キリギリス	カボチャ	タマネギ いたい
C34	つけもの石	おつけもの	カワムキヤ ナミダ カワムキヤ マタカワ ナンダコリヤ
C33	いすさん	おつけもの	おお タマネギ 私はおまえをみるとなみだが出てしまう おお タマネギ
C32	つけ物石	わからない	皮が多いけど 多くむいちゃやだよ 全部なくなる。
C31	カボチャ(知ってた)	カボチャ	切つたら なみだでる なせだろう
C30	おばあさん	かぼちゃ	まん中ばつさり切れば 人はかなしくて ないてしまう。おうちはおなべの中。
C29	いす	アスパラガス	目がいたくて いたくて たまらない なみだが ポロポロポロ
C28	わからない	きゅうり	いつも人をなかせる きられるともつとなかせる 水には弱い。

C 36	C 35	C 34	C 33	C 32	C 31	C 30	C 29	C 28	C 27	C 26	C 25	C 24	C 23	C 22	C 21	C 20	C 19	C 18	C 17	C 16	C 15	C 14	C 13	C 12	C 11		
おにぎり	もち	おにぎり	おにぎり	うかばない	ひょうたん	おへそ	おにぎり	おにぎり	ドーナツ	たまご	ふうせん	ひょうたん	ひょうたん	おにぎり	おにぎり	おにぎり	わかりません	おにぎり	おにぎり	わかりません	わかりません	おむすび	おにぎり	おにぎり	わからない	おもち	
たね	かき	ぶどう	ひょうたん	かき	ひょうたん	かきの実	わからない	わからない	わからない	ぎんなん	しいの実	ひょうたん	ひょうたん	わからない	米	たね	わかりません	わからない	たね	わかりません	バナナ	ヤシノミ	わからない	いちご	たね		
あたまの中は からっぽのおバカさん	穴 穴 穴 いつまでも 穴 穴 穴 穴	あなあいた のうみそカラカラ ああ バカだ	れんこんくん 君は右から入ると すぐ左から出るんだなあ 頭もからっぽ	なさけなく ありにせんりよう されたみたい	土の中のできる。もぐらに食べられて あなあいた。	あーあ 体をとっぽうで うたれちゃった。	つぶされた あなだらけ	だいこんの色がちがう お部屋がいつぱい	ドーナツをのばして つぶしちゃった	れいぞうこの中の トンネル	きつてもきつてもおなじかたち ちよつと ひげがはえてる	れんこんは なさけなや	どろの中に入っているもの 根っこに はえてるよ	クッキーを虫が食べて たくさん あながあいた	体が穴だらけ アリが落とし穴に入ったら 楽しいだろうな。もしかしたら六角形。へんな形。	さびしいよ おなかもすいた 穴ばかり	あなだらけ たてでなくては 見えないう	(白紙)	なさけない 体中に穴あいてる、スースーしてきもちわるい はやく あなをふさいでほしい	かわむけば おとし穴いつぱい 虫が通るの たいへん	れんこんは とるとき たいへん長くて なかなかつけねまでほれない	あながいつぱい ちよびつと太くて 長くて おもしろい	どうしてほくはあなだらけ? ピストルでバンバンうったのか、それとも上から針じこく?	そうがんきようみたい ガラスをつければ 本物だ			

名前	第一予想	第二予想	「ナメクジ」
C ₁	せんそう	わからない	海なんか きれいだーっ
C ₂	つる	つる	自分のいえなくした いえをさがしに たびにゆく
C ₃	つる	へび	みじめにも からをとられた
C ₄	太陽	わかりません	塩なんか 一番のだいっきれいだ
C ₅	へび	つる	うわー ふんじやった、足にぬるぬる ついちゃった どうやっても とれはしない
C ₆	うかびません	うかびません	ねばねばしてて くにや くにや
C ₇	毛糸	ミミズ	クジになったら ああ ナメたい。
C ₈	なわとび	へび	ヌルヌル ノロノロ かたつむりとにている 家をとったら なめくじ
C ₉	あたま	みの虫	ほくは木の中、ほくはようふくがない。ほくは家をもっていない。
C ₁₀			
C ₁₁	あたま	へび	あららら、上から塩がバラバラ 見ているだけなのに 自分がしんだ
C ₁₂	みのむし	みのむし	ほくはニヨロニヨロ土の上。ほくはへんしんできるのさ 家をつければカタツムリ。家はずせばナメクジさ。
C ₁₃	わからない	くも	べちよべちよしててきもちわるい。歩くのおそく だれにもまける。
C ₁₄	?	わからない	家がない さみしいな
C ₁₅	リボン	くも	トロトロとけそう 塩かけたらほんとにとけた。じめじめした所にいる。
C ₁₆	クモ	クモ	カタツムリの家なし ほくはこじき 塩をかけられると ギャー 体がとけちゃった
C ₁₇	じしん	くも	(白紙)
C ₁₈	へび	とかげ	ニユルニユル カタツムリのふたごきょうだい。お兄さんは家をしょってる。弟は家なし、かなしいナア

ひとりでも
もつれることができます
ひとりでも
もつれてくるができます
ひとりでも

もつれてみるがあります
あんまり
かんだんなものだから
じぶんが……
それでちきゅうまでが……

T これは何でしょう(↓第一予想)
T これは虫のような生き物です。
最後の二行はちよつとちがうけど、「もつれてくる」とか「もつれてみる」ことがありますっていうんだよ。(↓第二予想)
T これはミミズです。では、「なめくじ」の詩をつくろう。

